

1 本年度の重点教育目標

進んで学び 豊かな心で やりぬく子

2 本年度の取組の重点

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① 子供を学びを通して笑顔にする | ④ 保護者・地域を安心と信頼で笑顔にする |
| ② 子供を人とのかかわりで笑顔にする | ⑤ 笑顔で子供と向き合う職員集団 |
| ③ 子供に寄り添い笑顔にする | |

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価結果		学校関係者評価		
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善の方策の評価	主な意見（改善策など）
子供を学びを通して笑顔にする	主体的・対話的で深い学びを通して、「分かる・できる」授業づくりができたか。	b	・研修への参加や他校の実践の参観を積極的に勤めていく。	A	A	
	一人一台端末を有効に活用した授業実践を行うことができたか。	a		A	—	
子供を人のかかわりで笑顔にする	体験を通して、人のかかわりを学ばせ、いじめの未然防止、豊かな心の育成を図ることができたか。	a		A	—	
子供に寄り添い笑顔にする	自己肯定感を育て、個の特性に応じた関わりをし、子供に寄り添う意識高揚や環境づくりができたか。	a		A	—	
保護者・地域を安心と信頼で笑顔にする	子供の様子等を家庭と共有し、学校と家庭が連携して子供を育成することができたか。	a		A	—	
	CSを活用し、家庭・地域が一体となった学校運営を推進できたか。	b	・家庭にCSの組織運営についての理解を図っていく。	A	A	
笑顔で子供と向き合う職員集団	時代の要請・課題に応えるため、チームまた個々が高まるマネジメントができたか。	b	・多種多様な課題を解決するためにSCや行政機関などの地域や関連機関との連携・協働を一層強化していく。	A	A	
	教員が生き生きと子供と向き合うため、働き方改革に向けた取組を進めることができたか。	b	年間授業時数の見直しやICT活用の進化を図り、子どもと向き合う時間の確保を増やしていく。	A	A	

■ 自己評価達成状況

a	ほぼ達成できた（8割以上）
b	概ね達成できた（6割以上）
c	十分ではない（4割以上）
d	達成できなかった（4割未満）

■ 自己評価の適切さ及び改善の方策の適切さにかかる評価

A	自己評価及び改善策は適切であり、取組を進めるべきである。
B	自己評価及び改善策は適切であるが、若干の修正は必要である。
C	自己評価及び改善策の方向性はよいが、若干の修正が必要である。
D	自己評価及び改善策を再度検討する必要がある。

